S REPORT サステナブルレポート No.56

新素材で『消費』を生むか、 既存資源で『循環』を生むか

廃棄物

再資源化

リサイクル

■ 環境/社会課題に影響するプラスチック利用

廃棄物適正処理と資源有効活用の視点でマネジメント可能

■ 世界のプラスチック生産量と廃棄量 (1950-2015)

■ プラスチック廃棄量（累計）の推移と予測 (1950-2050)

- リサイクルは単体で激増していない。生産と消費に比例するため、同様に廃棄量も増加している。
- 現状のペースでは、プラスチックの埋立・自然投棄が2050年までに120億トン以上に達する。

出典：R. Geyer et al. "Production, use, and fate of all plastics ever made" (<https://advances.sciencemag.org/content/3/7/e1700782.full>)

廃プラスチック資源の有効活用は世界共通の課題であり市場拡大必至

捨てるために生産しているような麻痺状態

Satisfactory

■ 国内のプラスチック生産量と消費量の推移

生産
1千万トン超

消費
1千万トン超

廃棄
891万トン

出典：プラスチック循環利用協会 (<https://www.pwmi.or.jp/pdf/panf1.pdf>)

世界金融危機を除きほぼ横ばい、現状の消費が日常化

国内の廃プラスチック排出量の内訳（2018年）

種類や用途が多いがゆえに、回収や再活用が大変な労力となる

■ 廃プラの輸出と焼却処分への依存

- 処理の23%を占める **マテリアルリサイクル**の過半が輸出頼りだった。
- 中国の政策転換を皮切りに **輸入制限**が広がり、**バーゼル法改正**で**輸出規制**も始まる。
- 対して単純焼却・埋立は14%、サーマルリサイクルは58%。

数値は2017年値（プラスチック循環利用協会による）

■ 輸出量の推移と輸入規制地域（抜粋）

2020年2月12日 JETROレポートをもとに弊社作成

和2年(令和2年)6月3日(水曜日) 11版 マーケット商品 18

あふれる再生資源

古着や再生プラ

東南ア輸出ブレーキ

世界的な感染症が日本への再生資源の供給に大きな影響を与えている。家庭から出る古着は年々増加し、国内の処理能力に追いつかなくなっている。再生資源の輸出は、国内の資源不足を補う重要な役割を果たしている。しかし、海外の処理能力も限界に達している。再生資源の輸出は、国内の資源不足を補う重要な役割を果たしている。しかし、海外の処理能力も限界に達している。

2020年6月3日 日本経済新聞

20年(令和2年)6月9日(火曜日) 11版 マーケット商品 18

廃プラ資源循環遠い道

再生品、国内活用進まず

品質ばらつき、海外流出も

ポリプロピレンの輸出量

再生品の国内活用が進まず。品質ばらつきが海外流出を促している。再生品の国内活用が進まず。品質ばらつきが海外流出を促している。

2020年6月9日 日本経済新聞

分別しても行き場のない資源が、適正処理されずに自然界に放置される

■ 代替資源への考察

- 最低限、**脱石油資源に寄与**する点で有効である。
- 生分解性が高くても**分解には時間を要する**ため、自然放置を防がなければ生態系への影響は残る。
- リサイクル可能なものでも**物流（回収・再販）に係るコストとネットワーク**が整わなければ廃棄される。
- 利用を制限する過渡期には**既存のインフラを乱さない配慮**を要する。

■ 製品設計・デザインへの考察

- 長期利用やリユースを前提に**修繕や強化の方法と体制を整える**。
- 資源循環を前提に、リサイクルしやすい**容易な分解構造の上、衛生的に再生する**。
- 生産や加工過程の**ロス**を最小化する。省エネや再エネ活用がベター。
- 梱包・包装材の**減量化**と併せて、シンプルな資材選定と確実な分別誘導を行う。

海洋プラスチックごみの本質的解決は「日常の選択」から

EUROPEAN PLASTICS PACT

- 欧州で廃プラスチック削減とプラスチックの再利用・リサイクルの促進に取り組む官民イニシアチブ。
- 約90の企業、業界団体、自治体、国の官庁、NGOなどが、下記4点を目標に、循環的なモデルを確立すべく、議論やグッドプラクティスの共有を行う。

■ European Plastics Pact (欧州プラスチック協定) が掲げる目標

画像 : <https://europeanplasticspact.org/> 上記「プラスチック」は「プラスチック包装物・使い捨てプラスチック」を指す。

日本の戦略目標は「2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル」

■ 苦境の排出事業者にかかるプレッシャー

企業は自身の消費と廃棄による環境負荷を見直さなければならない

■ プラスチックの種類別マテリアルリサイクル比率（2017年）

PE・PPの国内資源循環を足元から実行する物流デザインへ

■ 従来の再生材ごみ袋の「安定供給」に隠れた真実

製品化にとどまり
物流^(*1)がデザイン
されていませんでした

(*1) 原材料の回収網と製品の販売網

100%再生品でも
新品資源^(*2)が多く
使われていました

(*2) オフグレード材

■ 一般的な再生材ごみ袋の原料

オフグレード材は、生産・加工時のロスや型落ちによって発生する新品資源だが、再生材として扱われる。比較的安価かつ容易に手に入り、再生製品の供給力や品質安定を助ける。

■ 良質な再生材サプライヤー

使用済みの廃プラスチックを安定的に入手するには、選別回収の労力やコストがかかるが、有価売却できなくなった排出企業にとっては廃棄処分するよりも好条件となる。

限られた資源に循環の手段がなければ、その利便性を享受しつづけることはできない

本物の再生材 = 使用済みプラスチック99%ごみ袋

FUROSHIKI

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

日本で古くから愛される「包む」文化は、「風呂敷」に象徴されます。使い捨てされず幅広い用途に繰り返し生きるその姿は、消費社会が目指すべき価値そのものです。同様に、廃棄物を包む「FUROSHIKI」は資源を大切に扱う心を表します。

全業種業態の最大公約数「ごみ袋」で環境プロジェクト始動

■ FUROSHIKIの国内資源循環＝レベルマテリアルリサイクル(*)

(*) 廃棄物を同一製品の原料に使用するリサイクルを指す。品質が満たず一段格下げされた分野の製品原料への使用はダウンマテリアルリサイクルという。

企業が輸出できなくなった「使用済みプラスチック」を
廃棄・焼却処理せずに

国内で定期回収

+

リサイクル
フロー開発

+

廃棄物管理
無料診断

+

CO2削減
レポート

捨てるのが当たり前ではない「ごみ袋」として

国内企業に還元

新たな化石原料の投入を抑制する「再生樹脂原料」を

国内で生産

既存のリサイクルフローで再資源化できる「還元力」を最大活用

■ 廃プラ提供

資源提供いただいた企業様

76社 (100トン超)

大手
物流会社

大手
運送会社

大手
食品メーカー

大手
建設会社

大手
通販会社

卸売市場 など

■ FURUSHIKI導入

ごみ袋を切り替えた企業様

759社

個人
飲食店

大手
家電量販店

大手
飲食チェーン

教育機関
(大学)

大手
葬儀会社

大手
コンビニ

大手
保険会社

大手
物流会社

卸売市場
など

L'OSIER

Ode

神楽坂
石かわ

虎白

ACCESS
日本アクセス

UTOOC

最期の、ありがとう。
葬儀会館
TEAR
ティア

(2020年8月時点の累計実績)

プロジェクト開始2ヶ月で<月産411万枚>体制 (45L袋換算)

■ 企業が既に実行している高コスト対策と、新たな提案

高コスト

再エネ調達

高コスト

省エネ機器

高コスト

電気自動車切替

高コスト

植林・森林保護

高コスト

クレジット購入

新品製造・焼却処理の
CO2排出削減

廃プラの循環利用

低コスト

■ 追加負担の比較（参考）

J-VER(*1)	J-クレジット(*1)	FUROSHIKI(*2)
13,200円/t	1,530円/t	0円/t

(*1) エコプロ2019にて実施されたカーボン・オフセットのクレジット価格
(*2) 自社調べ（FUROSHIKIむすぶ45L袋と一般的なごみ袋相場価格の差額）

CO2排出削減量の算出方法（環境省「3R原単位の算出方法」を参照）：一箱あたりのCO2排出削減量＝一箱あたりのごみ袋重量(kg)×99%×3.14kg-CO2

追加投資ゼロのリサイクルループへ

■ 解決できること

再生原料の使用で
石油資源使用量
の抑制

再生原料の使用で
CO2排出量
の削減

廃プラ利用で
国内廃棄物処理量
の削減

IRへの活用

- サステナビリティ報告書
- CO2排出削減
- 資源有効活用
- 廃棄物適正処理 等

■ 参加メリット

ごみ袋を変えるだけで
企業として
プラスチック問題
解決に寄与

ごみ袋を変えるだけで
SDGsへの
具体的な取組み
を発信

ごみ袋を変えるだけで
サステナブル
マインド醸成で
社内啓蒙

PRへの活用

- 店頭掲示
- Webサイト/SNS
- プレスリリース 等

■ リサイクル支援の対応品目例

パレット（木・樹脂）

金属

段ボール

蛍光灯

ストレッチフィルム

緩衝材

乾燥材

食用油

廃プラスチックに限らず、資源の有効活用を通じて社内のサステナブル・マインドを醸成する。
廃棄物から企業活動の日常に新たな気付きをもたらし、よりよい環境を創る当事者となる。

すべての消費に使い捨てない「循環」と、インフラから外れない「適正処理」を

■ サティスファクトリーの事業ポートフォリオ

■ 最新サービス/プロジェクト

処理に困るものを回収×買取×モニタリング

KIZUNA 受付中

- 事業者の混合廃棄物・蛍光灯・汚泥・廃プラ・木製パレットの再資源化と効率を可視化。
- 廃棄物回収・有価物買取・モニタリングのワンストップサービス。

企業の不要物を環境教材にアップサイクル

KIZUNA KIDS 受付中

- リボンやタイルなど、不要になったサンプル品を企業より受領して教材化。
- 全国100校の小学校に無償提供。作業しながら環境問題を考察する機会を創る。

環境に対して、社会に対して、人に対して誠実であることを宣言します

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先：

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory

全従業員で
毎週更新中

<https://www.sfinter.com/report/>